

登別市市民自治推進委員会
第3回全市観光に関する企画委員会 議事概要

開催日時：平成23年2月14日（月）18：30～20：00

開催場所：市民活動センターのぼりん 2F会議室A

出席者：川田、岡田、石亀、河村、南部、片岡、山田、中原、瀧川（事業見直しに関する企画委員会）

1. 議題

(1) 報告事項（川田チームリーダーより報告）

役員会報告の主な内容

- ・ 1月25日開催された役員会の別紙議事録にそって、川田チームリーダーから説明。

役員会は10名中8名が出席し、事務局2名及び説明員として市担当者4名が出席。

- ・ 3月13日（日）開催の「市民フォーラム」の参加要請があった。
行政に頼らない「合併しない」まちづくりでは、タイトルがふさわしくないとする意見や自立賛成とする意見が出たが、まだ、テーマは決定していない旨部会長から説明があった。まずは参加する方向で一致。
- ・ 「全市観光に関する企画委員会」として、8件の企画書について今後詰めていくこと、また、活動報告を広報していきたいことを報告した。
- ・ 事業見直しに関する企画委員会の瀧川氏からの報告。市に今どのような事業があるのかを調べることからスタートしている。事業見直し企画委員会にも是非参加して欲しいと説明があった。

その他報告の主な内容

- ・ 商工会議所で当企画委員会の企画書1.「地域の食文化を伝えるために（鮭編）」をモニターツアーとして検討したいとの事。

(2) 協議事項

検討テーマ「ご当地検定」について

- ・ 本道各地にあるご当地検定の現状について、川田チームリーダーから説明があった。
ご当地検定は商工会議所が主体で実施しているところが多い。当地会議所としては、事業の収益性や採算性などを考えた場合、動きづらい面があるとの事。検定の費用対効果を考えることも必要。
 - ・ 企画委員会として、「ご当地検定」を1番のテーマとして取り上げたい。
 - ・ 事業化（収益性、採算性）を目的にしていないこと、有識者の協力参加は厭わないが、できれば地元市民の手作りとしたい。
 - ・ 市長の市政方針で「全市観光」があったので、連携して行えるのではないかと。
 - ・ 問題集の作成委員会に積極的に関わりたいという、委員の発言があった。学生の参加も検討すべきとの意見。
 - ・ 具体的に観光についてのポイントをどうするのか、ガイドラインを設定した方がよい。
 - ・ 郷土史などを活用して当地の文化を勉強することも必要。
 - ・ 観光協会のリニューアルしたHPで、簡単な「鬼検定」を実施している。
 - ・ 企画書9.「全市観光を進めるために（全市民で花いっぱい運動）」について、趣旨説明があった。
 - ・ 次回も引き続き、「ご当地検定」に絞って企画書の細部を詰めることに。
- その他（以下はその他事項での意見であり決定事項では御座いません。）
- ・ 昨年度実施した「わくわくウォーキング」の継続。

(3) 次回会議

- ・ 日程：平成23年3月16日（水）18時30分～
- ・ 場所：市民活動センターのぼりん 2F会議室
- ・ 内容：企画書「ご当地検定」の細部検討